

- 問1 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。 (2025年 京城公立入試 類似)
1. 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。
  2. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。
  3. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。
  4. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。
- 問2 石狩川はかつて、平野部で非常に激しく蛇行して流れており、大雨のたびに深刻な洪水被害をもたらしていました。この問題を解決し、土地を有効活用するために明治時代以降に行われた河川改修工事の内容と、その後の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山公立入試 類似)
1. 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。
  2. 川の流れをせき止める巨大な多目的ダムを平野部に連続して建設し、水力発電による電力を周辺のアルミニウム工場に供給するようになった。
  3. 川底を大幅に掘り下げて水深を確保する工事が行われたことで、日本海側から内陸部まで大型の貨物船が航行できる運河として整備された。
  4. 川の周囲に堤防として大規模な防風林を設置し、冬の北西の季節風による農作物への塩害を防ぐことで、畑作が中心の地域となった。
- 問3 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 島根公立入試 類似)
1. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。
  2. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。
  3. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。
  4. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。
- 問4 北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。 (2024年 滋賀公立入試 類似)
1. 十勝平野
  2. 石狩平野
  3. 根釧台地
  4. 庄内平野
- 問5 冬の北海道において、北東部の海域が白い氷で覆い尽くされる「流氷」が見られる海域の名前と、その氷が形成される場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知公立入試 類似)
1. オホーツク海 — シベリア沿岸
  2. 日本海 — サハリン沿岸
  3. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸
  4. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸
- 問6 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。 (2024年 鹿児島公立入試 類似)
1. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用して、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。
  2. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。
  3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。
  4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。
- 問7 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。 (2016年 群馬公立入試 類似)
1. 根釧台地
  2. 十勝平野
  3. 石狩平野
  4. 上川盆地
- 問8 日本の都道府県の配置において、最北端に位置する北海道は、新潟県や鹿児島県といった他の地域と比較して特有の自然環境を有しています。北海道の大部分を占める気候帯の背景や仕組みについて述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。
  2. 日本海を流れる暖流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖である。
  3. 季節風の影響で一年中雨や雪が多く、夏と冬の気温差がほとんどない。
  4. 周囲を海に囲まれているため、本州の山梨県などの内陸部よりも夏は暑い。
- 問9 世界自然遺産にも登録されている鹿児島県の屋久島では、樹齢1000年を超える屋久杉などの貴重な生態系を維持するため、エコツーリズムの考え方が取り入れられています。この取り組みにおいて、観光地が果たすべき役割として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 沖縄公立入試 類似)
1. 自然環境を維持するために、観光客の立ち入りを一切禁止し、人の影響を完全に排除する。
  2. 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。
  3. 大型の宿泊施設や道路を整備し、一度にできるだけ多くの観光客を呼び込むことを最優先する。
  4. 地域の景観をより華やかにするため、もともとその土地になかった外来種の植物を植えて整備する。
- 問10 日本の諸地域の特徴をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。 (2023年 福岡公立入試 類似)
1. 北海道地方
  2. 中部地方
  3. 九州地方
  4. 関東地方
- 問11 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岡山公立入試 類似)
1. 日高山脈
  2. 飛騨山脈
  3. 赤石山脈
  4. 奥羽山脈
- 問12 十勝平野の畑作では、同じ土地で種類の異なる複数の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」が行われています。このような栽培方法をとる主な目的として、最も適切な理由を説明したものを選びなさい。 (2022年 和歌山公立入試 類似)
1. 特定の作物を続けて作ることで発生する連作障害を防ぎ、土壌の栄養分を維持するため。
  2. 年ごとの農作物の市場価格の変動に合わせて、最も収益の高い作物だけを育てるため。
  3. 農機の稼働時間を減らすことで、大規模経営における燃料費などのコストを削減するため。
  4. 北海道の短い夏において、複数の作物を同時に収穫して出荷作業の効率を上げるため。
- 問13 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡公立入試 類似)
1. 大型の機械を活用した大規模経営
  2. 労働力集約型による小規模経営
  3. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
  4. 伝統的な手作業を中心とした多角経営

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流氷がもたらすプランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問2	答え 1 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。	かつての石狩川は全長が現在の約1.4倍もあり、非常に蛇行が激しい川でした。洪水を防ぎ、泥炭地の水を抜いて農地（水田）として利用しやすくするため、蛇行している部分をショートカット（捷水路工事）して流れを直線化する工事が進められました。これにより、水はけが良くなり、石狩平野は北海道を代表する米どころへと発展しました。工事によって切り離された蛇行の跡は、現在も各地に「三日月湖」として残っています。
問3	答え 1 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何もない原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防衛上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問4	答え 1 十勝平野	北海道の東部に広がる十勝平野は、1戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型機械を活用した大規模な畑作が行われている地域です。選択肢にある石狩平野は稲作、根釧台地は酪農が盛んな地域であり、それぞれの土地利用の特色を区別することが重要です。
問5	答え 1 オホーツク海 — シベリア沿岸	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問6	答え 1 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。	道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
問7	答え 1 根釧台地	釧路と根室の間に広がるこの地域は、火山灰土が分布していることや、夏の気温が上がりにくい気候特性から、耕作よりも家畜の飼料となる牧草の生育に適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野は畑作、石狩平野や上川盆地は稲作が盛んな地域であり、それぞれ農業の特色が異なります。
問8	答え 1 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	北海道が属する亜寒帯（冷帯）は、赤道から離れた高緯度地域に特有の気候です。太陽からのエネルギーが少ないため冬は極めて寒冷になりますが、夏は日照時間が長くなるため一定の気温まで上昇します。その結果、夏と冬の気温の差が他の温帯地域よりも顕著に現れるというメカニズムを持っています。
問9	答え 2 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。	エコツーリズムは、自然を完全に隔離して守るのではなく、適切にルールを設けて活用しながら保全することを目指しています。屋久島や知床では、観察用のデッキや木道を設けることで、観光客が貴重な植物を直接踏みつけることを防ぎ、生態系を壊さずにその魅力を体験できるようにしています。
問10	答え 1 北海道地方	北海道は、広大な土地と豊かな自然資源を活かした観光業が盛んで、温泉地数や宿泊者数は全国有数の規模を誇ります。一方で、明治時代以降の開拓が歴史の中心であるため、近世以前の文化財を中心とする国宝の指定件数は、古くからの歴史を持つ他の地方に比べて少ない傾向にあります。
問1	答え 1 1 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その険しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問1	答え 1 2 特定の作物を続けて作ることで発生する連作障害を防ぎ、土壌の栄養分を維持するため。	同じ土地で毎年同じ作物を栽培し続けると、土壌の養分が偏ったり、病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が起こります。十勝平野では、ジャガイモ、てんさい、豆類、小麦などの異なる作物を順番に植え替える「輪作」を行うことで、土壌の肥沃さを保ち、安定した収穫量を確保する工夫がなされています。
問1	答え 1 3 大型の機械を活用した大規模経営	北海道は平坦で広大な土地に恵まれているため、他地域のような小規模な農地を細かく管理するスタイルではなく、広大な農地を少人数で管理する「大規模経営」が行われています。この形態を維持するために、大型の機械が不可欠な道具となっており、これが北海道の景観や農業の強みとなっています。